

仙台圏域の実施状況について

仙台圏域プランキャッチフレーズ

- 新しい観光資源を活かした圏域一体となった周遊戦略の展開

仙台圏域の施策の方向性及び取組

- 計画期間で対応が必要な取組

- ① 圏域観光の展開において、観光関連事業者、交通インフラ関係者及び行政同士が情報共有、意見交換及び協働等連携を実施する仕組の構築。
- ② 観光資源の発掘・磨き上げ・PR 及びこれら観光資源と連携したスタンプラリーやテーマ性を持たせた情報発信を包含し「面」としてマイクロツーリズムを展開する。
- ③ 観光客のニーズや嗜好の把握と、得られた情報を圏域で共有し、多様な観光客毎に訴求する方法で情報発信を行うなど戦略的に活用する。また、SNS 等を活用する際にはその機能・特性を活かし情報発信を行う。
- ④ 観光を軸とする「仙山交流」のネットワークを活用した取組を再開し交流人口・関係人口の拡大とともに、各市町村の特色ある他分野・異業種連携も視野に入れ観光資源の高付加価値化を図る。

- 中長期的に対応が必要な取組

県外・国外からの観光客復活に向けて、圏域内の観光資源とその安全・安心に関する情報発信を継続するとともに、その情報は高品質且つタイムリーなものとする。

～「第5期みやぎ観光戦略プラン」抜粋～

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会仙台地域部会事業

●これまでの取組

【概要】仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会が開催する観光キャンペーンに係る事業や仙台・松島地域への誘客促進に向け、仙台地域部会及び観光担当者等で構成するワーキンググループ等で取組内容を検討し、各種PR等に取り組んだ。

【取組状況】

①ワーキンググループ等による市町村等観光

担当者との情報共有及び連携

開催数：3回

テーマ：管内市町村連携によるPR事業内容
の検討等



②「みやぎ秋のお出かけ観光キャラバン＆特産品販売会」 ワーキンググループの様子

開催日：令和5年10月7日（土）、8日（日）

場所：仙台うみの杜水族館（2日間計約1万人来館）

内容：

- 市町村観光PR及びご当地キャラクターグリーティング、市町村観光パンフレット・ノベルティーの配布、伊達武将隊・仙台すずめ踊りの演舞やクイズラリーによるイベント開催、特産品販売会（11市町村から14店舗出店）
- 来場者アンケートを実施（回答者321名）し、その結果について情報共有した。



みやぎ秋のお出かけ観光キャラバン＆特産品販売会の様子

③管内観光ガイドブック「#せんだいWOWな旅」の配布

配布数：R5年度3万部（県内外 約100箇所へ配架）

●今後の取組

今後、行政や観光関連事業者及び交通インフラ関係者が参加する研修会や仙台地域部会の観光担当者等で構成するワーキンググループ等で情報共有や意見交換の場とするなど、圏域観光の展開に向けた協働等、連携促進を図る。

仙台圏域内観光周遊促進・満足度向上事業

●これまでの取組

【概要】管内市町村や観光事業者等の関係者が一丸となって、仙台圏域の魅力を発信し、県内外から観光客を誘引する取組を一層推進し、落ち込んだ観光需要の回復と観光産業等の地域活性化につなぐ。

【取組状況】

- ① 「仙台地域うまいっチャ！スタンプラリー」開催
(R5.10.7～R6.1.8)
 - 管内の飲食店や直売所等のスタンプスポット（40店舗）を巡るデジタルスタンプラリーを実施。合わせてお勧め観光スポット（20カ所）をデジタルマップ上に掲載し、周遊促進を図った。
 - 参加者数：2,591人（R5.12.20現在）
- ② （上記連動企画）スタンプスポットの料理や地場産品を掲載するInstagramフォトキャンペーンの開催
- ③ 情報雑誌（「りらく」11月号）への掲載
 - スタンプスポット先の飲食店や周辺観光スポット等を取り上げ、食と観光をテーマに地域の魅力発信・周遊促進を図った。
- ④ 観光人材育成を目的とした研修会の開催（R6.2予定）



「仙台地域うまいっチャ！
スタンプラリー」チラシ



「仙台地域うまいっチャ！
スタンプラリー」ホームページ

●今後の取組

令和6年度も管内全域を対象とし、ターゲットへの訴求力のある地域の観光資源を取り入れた周遊ラリー等の取組を開催予定。

仙台地域体験型コンテンツ魅力発信事業(R6.1より開始)

●今後の取組

【概要】上記事業と連続性を持たせながら、当管内の地域資源を活かした魅力的な体験型コンテンツをSNSを通じて県内外に広く発信するもの。

【取組内容】

- 当地域の地域資源を活かした体験型コンテンツ（3カ所）と周辺観光スポット等をご当地キャラクター「仙台弁こけし」や自治体ゆるキャラと連携して、SNSで情報発信する。また、閲覧数向上に向けて、「仙台弁こけし」SNSアカウントからの情報発信やSNS広告等を活用する。
- その他、体験型コンテンツの充実と認知度向上に向けて、関係機関と連携して発掘・磨き上げを行うとともに、継続的な情報発信により当地域のPRを図る。

公式SNSや県ホームページによる情報発信事業

●これまでの取組

【概要】 新設する公式SNS(InstagramおよびFacebook) や県のホームページに観光イベントや観光資源等を掲載し、圏域の魅力を効果的に情報発信する。

【取組状況】

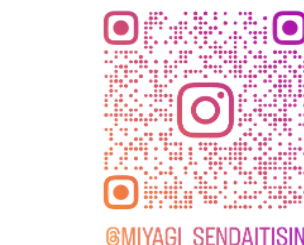
- ①当事務所公式Instagram及びFacebookを開設
令和5年6月末開設
アカウント：@MIYAGI_SENDAITISIN
登録者数：約600人
掲載内容：観光、イベント、食に関わる情報等



Instagramによる管内観光スポット等の紹介例

- ②県ホームページへ毎月管内観光イベント情報を掲載

- ③アンケート実施による観光客のニーズ等の把握
 - 各種イベント開催時に合わせ、アンケートを実施。管内市町村観光担当課の他、イベントに参加の店舗等にも結果をフィードバックし、得られたニーズや嗜好等を共有した。



県ホームページでの管内イベント情報紹介例

●今後の取組

今後もアンケート等の結果を活かしながら、継続的に多様な情報発信手段を用いて管内情報発信を進める。

仙台地域体験型コンテンツ魅力発信事業(R6.1より開始)【再掲】

●今後の取組

仙台地域体験型コンテンツ魅力発信事業で作成するコンテンツの充実を図るとともに、多方面で情報発信力を向上する仕組みを検討する。

仙山交流連携促進事業

●これまでの取組

【概要】 仙台地域、山形県村山地域の連携機運を醸成し、仙山圏域内での一層の交流人口拡大・産業振興を目指す。

【取組状況】

①「仙山交流スイーツスタンプラリー」開催

(R5.7.15～10.12)

- 11市町村（宮城5、山形6）の11スポットを対象
- スイーツをテーマにしたデジタルスタンプラリー（「ドライブスタンプラリー」：参加者889名、「家たびスタンプラリー」：参加者602名）



スタンプラリーチラシ

②「仙山交流連携促進会議」の開催

開催日：令和5年9月20日、東北歴史博物館

(多賀城市)

テーマ：「歴史・文化をテーマにした
仙山交流連携の促進」

参加者：市町村企画・観光担当者等38名



仙山交流連携促進会議

③「仙山交流味祭inせんだい」の開催支援

開催日：R5.10.11～10.12

開催場所：勾当台公園市民広場

参加店舗数：25店舗



「仙台交流味祭inせんだい」

●今後の取組

令和6年度は、3カ年に分けエリアを分けて取り組むスタンプラリーの最終年を迎える。更なる交流人口の拡大に向けて、山形県とテーマや開催時期等の検討を行うとともに、令和7年度以降の両県で実施する取組内容について検討する。

松島町交通社会実験

●これまでの取組

【概要】松島海岸周辺の道路空間の課題解決のため、国道や公園の活用を見据えた交通社会実験の実施。当事務所では、松島公園グリーン広場を活用した賑わい空間の創出の支援を実施する。

【取組状況】

- ①観光PRやガイドブック等の配布、宮城米や仙台牛等県産食材のPR、農林水産業の紹介ブースの設置
- ②むすび丸や牛政宗くんによるじゃんけん大会の実施
- ③松島町内特産の農産品販売を支援



管内観光情報のPRやイベント等の様子

●今後の取組

松島町交通社会実験協議会（国、県、周辺市町、各種団体等で構成）にて2カ年の交通社会実験結果をもとに、今後の方向性を検討する。

仙台地域体験型コンテンツ魅力発信事業(R6.1より開始)【再掲】

●今後の取組

地域の体験型コンテンツ魅力発信事業で作成するコンテンツの充実を図るとともに、県外・国外からの観光客へ向けた情報発信の仕組みを検討する。

県ホームページや公式SNSによる情報発信事業【再掲】

●今後の取組

引き続き多様な情報発信手段を用いて管内の情報発信を進める。